# 2027年３月期　中間決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年11月12日


上場会社名　　株式会社キャストリコ　　上場取引所　東
コード番号　　6695　　URL　https://www.castrico.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）佐川　達也
問合せ先責任者　（役職名）常務取締役　　（氏名）都留　顕二　　TEL　03-6910-1651

半期報告書提出予定日　　2026年11月12日　　配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期中間期の業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 中間純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2027年３月期中間期 | 2,751 | － | 270 | － | 267 | － | 181 | － |
| 2026年３月期中間期 | － | － | － | － | － | － | － | － |

| | １株当たり中間純利益 | 潜在株式調整後１株当たり中間純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2027年３月期中間期 | 82.38 | － |
| 2026年３月期中間期 | － | － |

（注１）2026年３月期は決算期変更の経過期間であり、2025年11月１日から2026年３月31日までの５ヶ月間の変則決算となったため、2026年３月期中間期の金額及び対前年中間期増減率、2027年３月期中間期の対前年中間期増減率は記載しておりません。
（注２）潜在株式調整後１株当たり中間純利益については、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

（２）財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2027年３月期中間期 | 2,985 | 1,605 | 53.8 |
| 2026年３月期 | 2,489 | 1,425 | 57.3 |

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　1,605百万円　2026年３月期　1,425百万円

２．配当の状況

| | 年間配当金 | | |
|---|---|---|---|
| | 中間期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2026年３月期 | － | 1.00 | 1.00 |
| 2027年３月期 | － | | |
| 2027年３月期（予想） | | － | － |

（注１）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
（注２）2027年３月期の配当金額は未定であります。

３．2027年３月期の業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 5,800 | － | 367 | － | 362 | － | 250 | － | 113.43 |

（注１）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
（注２）2026年３月期は決算期変更の経過期間であり、2025年11月１日から2026年３月31日までの５ヶ月間の変則決算となるため、2027年３月期の業績予想における対前期増減率は記載しておりません。

※　注記事項

（１）中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は添付資料７ページ「２．中間財務諸表及び主な注記　（４）中間財務諸表に関する注記事項　（中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご参照ください。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①　期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2027年３月期中間期 | 2,264,000株 | 2026年３月期 | 2,264,000株 |
| ②　期末自己株式数 | 2027年３月期中間期 | 60,000株 | 2026年３月期 | 60,000株 |
| ③　期中平均株式数（中間期） | 2027年３月期中間期 | 2,204,000株 | | |

※　中間決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．中間財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）中間貸借対照表 …… 3
（２）中間損益計算書 …… 5
（３）中間キャッシュ・フロー計算書 …… 6
（４）中間財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 7

# １．経営成績等の概況

## （１）当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間における世界経済は、地政学リスクやインフレの長期化といった不透明感を抱えつつも、全体として底堅く推移しております。日本経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調を維持しております。一方で、地政学リスクの継続、原材料価格やエネルギーコストの高止まり、金利・為替の変動等、先行き不透明な状況が続いております。

当社の属する半導体業界においては、AI需要の拡大を背景に技術進化と供給体制の増強が進んでおります。デジタルトランスフォーメーション（DX）やIoT化の動きが継続する中、生成AI向けの演算用半導体や電気自動車（EV）向けのパワー半導体などの需要が伸長し、また、ノートパソコンやスマートフォンなど民生品向け需要が回復基調にあるなど、半導体製造装置市場は中長期的な成長が見込まれます。

このような経営環境下において、売上高は2,751,798千円、営業利益は270,211千円、経常利益は267,666千円、中間純利益は181,572千円となりました。

なお、当社はエレクトロニクス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。また、2026年３月期は決算期変更の経過期間であり、2025年11月１日から2026年３月31日までの５ヶ月間の変則決算となったため、前中間会計期間の金額及び当中間会計期間における対前年中間期増減率は記載しておりません。

## （２）当中間期の財政状態の概況

### ① 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当中間会計期間末における流動資産の残高は2,683,944千円で、前事業年度末に比べ498,413千円増加しております。主な増加要因は売掛金の増加479,630千円、仕掛品の増加187,695千円、原材料の増加96,448千円等、主な減少要因は現金及び預金の減少269,600千円等であります。

(固定資産)

当中間会計期間末における固定資産の残高は301,306千円で、前事業年度末に比べ2,243千円減少しております。

(流動負債)

当中間会計期間末における流動負債の残高は938,296千円で、前事業年度末に比べ355,908千円増加しております。主な増加要因は買掛金の増加194,421千円、未払法人税等の増加88,326千円、未払金の増加29,607千円、未払消費税等の増加28,341千円等であります。

(固定負債)

当中間会計期間末における固定負債の残高は441,668千円で、前事業年度末に比べ39,107千円減少しております。主な減少要因は長期借入金の減少45,120千円等であります。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産の残高は1,605,286千円で、前事業年度末に比べ179,368千円増加しております。中間純利益181,572千円の計上による利益剰余金の増加及び剰余金の配当2,204千円による利益剰余金の減少がその変動要因であります。

### ② キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は545,416千円（前事業年度末比269,621千円減少）となりました。各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は以下の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は219,541千円となりました。主な減少要因は売上債権の増加額479,517千円、棚卸資産の増加額284,274千円等によるものであり、主な増加要因は税引前中間純利益の計上267,666千円、仕入債務の増加額194,421千円、未払金の増加額29,623千円、未払消費税等の増加額28,341千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2,346千円となりました。その減少要因は有形固定資産の取得による支出2,346千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は47,732千円となりました。主な減少要因は長期借入金の返済による支出45,120千円によるものであります。

## （３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の通期業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、2026年５月14日に公表した業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## ２．中間財務諸表及び主な注記

### （１）中間貸借対照表

（単位：千円）

| | 前事業年度<br>（2026年３月31日） | 当中間会計期間<br>（2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 826,044 | 556,444 |
| 売掛金 | 658,157 | 1,137,788 |
| 電子記録債権 | 112 | 148 |
| 商品及び製品 | 382 | 513 |
| 仕掛品 | 288,793 | 476,488 |
| 原材料 | 371,602 | 468,051 |
| 前払費用 | 31,786 | 43,843 |
| その他 | 8,651 | 666 |
| 流動資産合計 | 2,185,531 | 2,683,944 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物（純額） | 3,839 | 3,753 |
| 建物附属設備（純額） | 102,551 | 99,485 |
| 機械及び装置（純額） | 8,367 | 7,204 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 14,024 | 11,639 |
| その他（純額） | 2,554 | 6,247 |
| 有形固定資産合計 | 131,337 | 128,329 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウエア | 660 | 356 |
| その他 | 725 | 701 |
| 無形固定資産合計 | 1,385 | 1,058 |
| 投資その他の資産 | | |
| 長期滞留債権 | 44,257 | 44,107 |
| 長期前払費用 | 1,404 | 1,180 |
| 繰延税金資産 | 109,741 | 109,741 |
| 敷金 | 48,062 | 45,377 |
| その他 | 11,618 | 11,618 |
| 貸倒引当金 | △44,257 | △40,107 |
| 投資その他の資産合計 | 170,827 | 171,918 |
| 固定資産合計 | 303,550 | 301,306 |
| 資産合計 | 2,489,082 | 2,985,251 |

（単位：千円）

| | 前事業年度<br>（2026年３月31日） | 当中間会計期間<br>（2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 331,896 | 526,317 |
| １年内返済予定の長期借入金 | 90,240 | 90,240 |
| 未払金 | 76,656 | 106,263 |
| 未払法人税等 | 4,151 | 92,478 |
| 未払消費税等 | － | 28,341 |
| 預り金 | 4,945 | 5,615 |
| 賞与引当金 | 71,186 | 85,828 |
| その他 | 3,312 | 3,211 |
| 流動負債合計 | 582,387 | 938,296 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 478,770 | 433,650 |
| その他 | 2,006 | 8,018 |
| 固定負債合計 | 480,776 | 441,668 |
| 負債合計 | 1,063,164 | 1,379,964 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 282,480 | 282,480 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | 182,600 | 182,600 |
| その他資本剰余金 | 1,797 | 1,797 |
| 資本剰余金合計 | 184,397 | 184,397 |
| 利益剰余金 | | |
| 利益準備金 | 9,740 | 9,740 |
| その他利益剰余金 | | |
| 繰越利益剰余金 | 952,820 | 1,132,188 |
| 利益剰余金合計 | 962,561 | 1,141,929 |
| 自己株式 | △3,520 | △3,520 |
| 株主資本合計 | 1,425,918 | 1,605,286 |
| 純資産合計 | 1,425,918 | 1,605,286 |
| 負債純資産合計 | 2,489,082 | 2,985,251 |

（２）中間損益計算書

（単位：千円）

| | 当中間会計期間<br>（自　2026年４月１日<br>至　2026年９月30日） |
|---|---|
| 売上高 | 2,751,798 |
| 売上原価 | 2,133,176 |
| 売上総利益 | 618,621 |
| 販売費及び一般管理費 | 348,409 |
| 営業利益 | 270,211 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 780 |
| 受取配当金 | 2 |
| その他 | 94 |
| 営業外収益合計 | 877 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 3,421 |
| その他 | 1 |
| 営業外費用合計 | 3,423 |
| 経常利益 | 267,666 |
| 税引前中間純利益 | 267,666 |
| 法人税等 | 86,094 |
| 中間純利益 | 181,572 |

（３）中間キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

| | 当中間会計期間<br>（自　2026年４月１日<br>至　2026年９月30日） |
|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税引前中間純利益 | 267,666 |
| 減価償却費及びその他の償却費 | 12,517 |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | △4,150 |
| 賞与引当金の増減額（△は減少） | 14,642 |
| 受取利息及び受取配当金 | △783 |
| 支払利息 | 3,421 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | △479,517 |
| 棚卸資産の増減額（△は増加） | △284,274 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | 194,421 |
| 未払金の増減額（△は減少） | 29,623 |
| 未払消費税等の増減額（△は減少） | 28,341 |
| その他 | 1,705 |
| 小計 | △216,385 |
| 利息及び配当金の受取額 | 762 |
| 利息の支払額 | △3,434 |
| 法人税等の支払額 | △484 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △219,541 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △2,346 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △2,346 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 長期借入金の返済による支出 | △45,120 |
| 配当金の支払額 | △2,220 |
| その他 | △391 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △47,732 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | △269,621 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 815,037 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 545,416 |

（４）中間財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用（法人税等）の算定方法）

税金費用については、当中間会計期間を含む当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

当社は、プロダクツ事業、エンジニアリング事業及びシステム事業を主体とするエレクトロニクス事業を行っており、単一セグメントであるため、記載を省略しております。